

ブラインド等のひもの事故に 気を付けて！

ブラインド類やスクリーン類のひも部分や、カーテンの留めひもで、首や手足を引っかける事故が発生しているのをご存知ですか？
小さな子供はひもで遊んだり、思わずひもに引っかかってしまうことがあります。
でも、自分でその危険に気付くことはできません。
子供の届く範囲にひも部分のない環境を作りましょう。



安全性の高い商品の選択

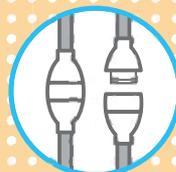
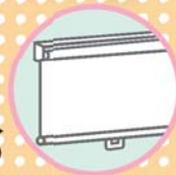
子供が過ごす場所では、ひも部分がない・ループ（ひもが輪になっている部分）が小さいなど、安全性の高い商品を選びましょう。

安全器具の活用

ひも部分のある商品については、子供の手の届かない位置にひもをまとめるクリップや、重さがかかるとひもが切れるジョイント、チェーンの緩みをなくす固定具等を適切に使用しましょう。

※安全器具の入手についてはメーカーへお問い合わせください。

ひものない商品の例→
(ロールスクリーン ハンドル式)



ジョイント



クリップ

家具の配置に注意

子供がソファやベッド等を踏み台にすることもあります。周りの家具の配置に注意しましょう。

事故の再発防止や製品の安全性向上のため、危険を感じたり事故が発生した場合は消費生活相談窓口等に情報提供しましょう。

消費者ホットライン ☎0570-064-370

(セロ・ゴー・ナナ・セロ 守ろうよ、みんなを)